

質問者 星野 葉佑 議員（19番）

1 高齢者も暮らしやすい町づくりについて

ただいまの星野葉佑議員のご質問にお答え申し上げます。

高齢者も暮らしやすい町づくりについて、であります。令和3年5月1日現在、沼田市の65歳以上の人口は1万5,967人で、高齢化率は34.4パーセント、3人に1人以上が高齢者となり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の割合も増加傾向にあります。

介護保険制度の創設から20年以上が経過する中、地域に必要な介護施設等の整備が進められており、市では、高齢者福祉を推進するため、在宅での生活を安全で快適に営むための住宅改修費用の支援をはじめ、移動支援として、敬老バスカード助成事業や福祉タクシー利用券の交付などのほか、日常生活を支援する訪問型サービスや生活機能の維持・改善のための通所型サービスを提供しています。

また、地域の皆さんの交流の場として、各地区コミュニティセンタ

一や、星野議員がお住まいの地域の集会施設等においても、介護予防のための、福老体操等による健康運動教室の開催や、高齢者筋力向上トレーニング事業等を通じた、地域の自主的な活動を支援するとともに、星野議員のご意見のとおり、地域の人同士で会話ができ、憩いの場をつくることは、外出機会の提供や居場所づくり、仲間づくりなどにもつながることから、沼田市社会福祉協議会が進めている「ふれあい・いきいきサロン」の設置を推進しています。

今後、高齢化はさらに進展することが見込まれており、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立して生活ができるよう、医療、介護、住まい、予防等に関する支援を包括的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、取組を推進したいと考えています。

以上申し上げます。星野<sup>ほしのかんすけ</sup>葉佑議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。